

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	産業環境課		
------	-------	--	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	11 環境保全・循環型社会

事業の内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	地球環境保護	地球温暖化防止のため、住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業として、家庭用エネルギー管理システム5件、定置用リチウムイオン蓄電システム14件、家庭用エネルギー管理システム、定置用リチウムイオン蓄電システムの両方設置5件、住宅用太陽光発電システム、HEMS、定置用リチウムイオン蓄電システムの一体的設置24件、住宅用太陽光発電システム、HEMS、高性能外皮等の一体的設置1件について補助を実施し、環境負荷の低減に努めた。 役場や保育園等の公共施設において「緑のカーテン」を設置し、省エネルギー対策を推進した。	B	A
2	住民協働による生活環境の美化	環境美化530運動「クリーンふそう530(ゴミゼロ)デー」を5月29日前後に開催し、町民が一人丸となって、空きかん等の散乱ごみを一掃する環境美化活動を実施した。 アダプトプログラムによる身近な公共施設の美化活動、環境活動団体によるリサイクル活動など生活環境の保全を推進した。	B	B
3	公害防止の推進	公害苦情や不法投棄等を未然に防ぐため、定期的なパトロールの実施による町内の公害監視を行い、公害防止対策に努めた。	B	C
4	ごみの減量化・資源化	ごみ減量化やリサイクルの推進を図るため、衛生委員への分別指導や広報での周知を通じて3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進等啓発・指導に努めた。 また、生ごみ処理機等を活用した生ごみの堆肥化を推進し、ごみの原料化と資源化による有効利用を促進した。	B	B
5	新ごみ処理施設の整備	尾張北部環境組合及び関係市町と連携し、新ごみ処理施設の整備を進め、ごみの適正な処理を推進した。	A	B
6	し尿・浄化槽汚泥の処理	下水道認可区域外の地域においてし尿汲み取り及び単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換を促し、5人槽25基、7人槽15基、10人槽1基の助成を実施して環境負荷の低減に努めた。 浄化槽汚泥の適正処理を推進した。	B	B

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 アダプトプログラム参加団体数	協働によるアダプトプログラムに参加した団体数(団体)	25	25	29	29	29	29
		28	×	○	○	○	○
2 一人1日あたりの家庭系ごみ排出量(資源ごみを除く)	ごみ処理基本計画のごみ排出量目標値(グラム)	454	449	441	457	440	438
		439	×	×	×	×	○
3 合併処理浄化槽設置数	合併処理浄化槽の設置基数(基)	214	220	226	227	267	308
		234	×	×	×	○	○
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題

アダプトプログラム参加団体数は、現時点では目標値を上回っているが、引き続き加入を促していく必要がある。
補助制度や参加募集の情報提供を図る上で、広報紙やホームページへの掲載方法の検討が必要である。
生活用品の多種多様化に伴い、ごみ分別に関する周知方法を検討する必要がある。

評価を踏まえた来年度以降の改善策

アダプトプログラム参加団体の活動内容を積極的に紹介し、参加団体数の増加を目指すとともに、既存の参加団体についても活動強化を働きかけていく。
補助や助成制度について周知広報を強化し、年間助成件数を増やす。また、環境にやさしい住宅改善事業の環境課への移行に伴い、さらなる地球保護活動の実施を図る地球環境保護活動の実施を図る。
既存の町ホームページの「50音別ごみ分別早見表」の充実を図るとともに、ごみ分別サイト「さんあ～る」の利用促進を行い、分別方法のさらなる周知啓発を図る。

※1 事業の実効性
A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)
C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度
A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)
C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)